

南極の自然観測とオゾン層保護をめぐる国際協力

元南極地域観測隊員が見た1980年代の現場から

講師：元 気象庁、南極地域観測隊員
うつのみや環境行動フォーラム
里山部会 メンバー

高尾 俊則 氏



2026

7/8

水

12:40-14:10

開催趣旨

本フォーラムでは、元南極地域観測隊員の高尾俊則氏をお招きし、1980年代の南極観測の現場とオゾン層保護をめぐる国際協力についてお話しいただきます。科学的な観測成果は各国の合意形成や国際条約形成の基盤です。当時の現場経験に思いを馳せ、国際協力のダイナミズムをともに考えませんか。

講師紹介

【略歴】

昭和49年 3月 福岡県立八幡高校卒業

昭和54年 3月 気象大学校卒業

昭和58年～・平成4年～ 日本南極地域観測隊に参加

平成12年4月～ 気環境観測所長、オゾン層情報センター所長、
青森、宇都宮、横浜地方気象台長などを歴任

平成28年 3月 気象庁を定年退職

【所属（現在）】

日本気象学会 昭和54年4月～

うつのみや環境行動フォーラム 令和6年6月～

宇都宮市緑化ボランティア 令和6年7月～

開催場所

宇都宮大学
峰キャンパス
4B33教室

事前申込み
不要

宇都宮大学国際学部附属 多文化公共圏センター
協力：NPO法人うつのみや環境行動フォーラム

問合せ：国立大学法人宇都宮大学 国際学部附属 多文化公共圏センター／高橋若菜研究室

TEL：028-649-5228 E-mail：tabunka-c@a.utsunomiya-u.ac.jp

※ 来場者用駐車場は原則用意しておりませんので、LRT・バス等 公共交通機関をご利用いただけますと幸いです。